
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

センターだより 第111号(通巻第178号)

2012年9月27日 発行
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

■ 後期教育ボランティアガイダンスのご案内

本センターでは、事業支援プロジェクトー教員志望大学生による支援事業として、教育ボランティア活動を実施しています。この事業にかかわる学生を対象にした、平成24年度後期の教育ボランティアガイダンスを下記のとおり開催いたします。

受け入れ先の教育委員会、各学校・機関の担当者が活動内容等の説明を行います。今回のガイダンスも教育ボランティア学生運営委員会が運営を担当いたします。

多くの学生の皆さんの御参加をお待ちしています。

日時：10月3日(水) 14:45～16:25

場所：本学N号館 N-11・N-12教室(1階)

説明：受入先を小グループ編成し、学生が希望するグループの説明を聞きに行くブース形式

■ 教育実践総合センター研究紀要「教育実践学研究」第18号原稿募集について

平成24年度教育実践総合センター研究紀要「教育実践学研究」第18号の原稿を、下記要領により募集いたします。多くの方々から、教育実践学研究の推進に資する論文の投稿をお待ちしております。

1. 投稿申込について

(1) 申込資格：

- (a) 本学教育学研究科教員・本学部教員(附属学校園教員・非常勤講師を含む)及び退職者(ただし、本学等に在職時の研究に関する発表のみ可)。
- (b) 本学教育学研究科・本センター客員教授・本センター研究員及び本センター研究協力者。
- (c) 本学教育学研究科所属の大学院生(大学院生は指導教員等の承認が必要です)。
- (d) その他、センター研究紀要編集委員会が認めた者。

(2) 申込締切：平成24年10月25日(木)

(3) 申込方法：以下の項目について記したメールを jissen@ml.yamanashi.ac.jp 宛てに送ってください。

☆ 申込者の氏名と所属

☆ 共著者全員の氏名と所属

☆ 指導教員名（筆頭著者が大学院生の場合）

☆ 論文題目

2. 原稿提出について

(1) 提出締切：平成24年11月8日（木）

(2) 提出方法：

☆ 図表・写真等を含む原稿のすべてをメールまたはCD、USBメモリー等により提出してください。

☆ 図表・写真は各々別ファイルにしてください。

☆ 論文全体のレイアウトのわかるプリントアウトを1部提出してください。

(3) 提出先：

☆ 提出メールアドレス：jissen@ml.yamanashi.ac.jp

☆ CD、USBメモリー、プリントアウトの提出：教育実践総合センター事務室（J424・内線8325）

3. その他

(1) 刊行規程や執筆要項、原稿作成要領については教育実践総合センターのWebページ

<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

にある「センター研究紀要」－「投稿案内」を御覧ください。

(2) 締切を厳守してください。

(3) 原稿の体裁など、編集委員会より修正をお願いすることがあります。

(4) 不明な点に関しては jissen@ml.yamanashi.ac.jp に御相談ください。

(5) 研究紀要は、pdfファイルのWebによる公開と、掲載論文の概要等を印刷した研究紀要概要リーフレットの発行を行います。

(6) 抜刷印刷をご希望の方は、論文著者の経費で承ります。

■ Moodle 初心者向け講習会のご案内

本学では、すべての学部・大学院等のすべての科目について、Moodleというeラーニングシステムが使えるように設定されています。CNSにログインした上で、右上のメニューの「e-Learning」をクリックすると現在の担当科目一覧と、履修申告者名簿がすでに入力されているので、すぐに教材を配布したり、クラス内でのディスカッションのための電子掲示板（フォーラム）をつくったり、レポート課題を提示して学生にレポートを提出させコメントや評点をフィードバックしたりすることができます。通常の対面授業とeラーニングシステムとを併用することにより、教育効果を高めることが期待されます。

このたび、本学におけるMoodleを初めて使う方向けに、講習会の入門編を実施することとなりました。先生ご自身の科目で、eラーニングを始めるにあたっての設定の仕方や簡単に使える便利な機能、気をつけるべき点等についてPCを操作しながら実習します。受講の先生や主催者側の講師陣が、教師の立場や学生の立場、TA（ティーチング・アシスタント）の立場等をロールプレイしながら実習を行います。途中からの参加や、途中での退出等も可能です。どうぞ、お気軽にご参加ください。

E-ラーニング・ワーキンググループ委員会
総合情報戦略機構

大学教育研究開発センター
工学部 基礎教育センター
教育人間科学部 附属教育実践総合センター

○ Moodle講習会プログラム

- ・ 日時：2012年10月9日(火) 16:30～18:00
- ・ 場所：J321教室 (J号館3階 情報処理教室)
- ・ 講師：成田雅博 氏 (教育人間科学部附属教育実践総合センター)
- ・ 内容：「Moodle操作の手引き」を見ながらeラーニング設定実習
――自分のクラスのレポート提出環境を設定しよう
- ・ 参加対象者について：この講習会は主に教員を対象としますが、会場に余裕がある場合には職員や学生も受講できます。

○参加申し込み：下記メールを教育実践総合センター事務室 望月 (e-mail:erikom@yamanashi.ac.jp) へお願いします。

講習会<10月 9日(火)>に参加します。

- ・ 所属：
- ・ 氏名：
- ・ Moodleの授業での利用経験 (もっともあてはまるものだけを残して、残りは消してください)：
 - 1 eラーニング・システムを使ったことは、あまりない
 - 2 eラーニング・システムをある程度使ったことがあるが、Moodleではなかった
 - 3 Moodleはある程度使ったことがある

※事前申し込みがなくても受講できますが、会場やサーバー設定の準備等がありますので、できれば事前に申し込んでください。

■ 平成24年度 第1回連携・教育研究会のご報告

平成24年8月30日(木)に、山梨県総合教育センターにおいて、第1回連携・教育研究会を開催しました。この会は、教員養成や教員研修に関わって、山梨大学と山梨県教育委員会(総合教育センター)がそれぞれの「強み」を生かして連携し、双方の成果を上げようという研究会です。

全体会では、昨年度の反省を踏まえた中で、今年度の研究の方向性等が確認されました。今年度から総合教育センターの研究体制が、喫緊の教育課題をグループで組織的に研究する体制へと変わりました。参加人数は17名でした。

分科会は、「A 教育課程研究(1. 防災教育, 2. 理数教育, 3. 言語活動)」, 「B 相談支援研究(1. 教育相談, 2. 特別支援教育)」, 「C 情報教育研究(1. 情報教育, 2. ICTの活用, 3. 校務の情報化)」, 「D 教育課程実施状況調査(小中学校社会科, 中学校英語科)」のグループに分かれ、それぞれのグループ研究の内容の方向性等について、熱心に協議が行われました。参加人数は、40名でした。

センター研究への支援ということで、大学側からは今年度は次の教員が参加します。教育実践総合センターでは、時友裕紀子センター長、谷口明子教授、蘆原桂教授、成田雅博准教授、川村直廣客員教授、

藤森顕治客員教授，早川健准教授，教育人間科学部からは，言語文化教育講座の岩永正史教授，社会文化教育講座の服部一秀教授，言語文化教育講座の田中武夫准教授，教育支援科学講座の鳥海順子教授が参加します。

■ 第 81 回国立大学教育実践研究関連センター協議会のご報告

センター協議会総会及び部門会議が，9月14日（金）に長崎大学全学201教室において開催されました。加盟36センター，56名の出席があり，山梨大学からは，蘆原教授，成田准教授の2名が参加しました。

総会では，部門計画報告，協議会規約改正，平成23年度会計収支報告，平成24年度事業計画について審議され，センター協議会ホームページ及びメーリングリストについての説明が行われました。

全体講演は，文部科学省初等中等教育局企画官の日向信和氏による「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」という題目で，今年8月24日に答申された中央教育審議会について説明及び質疑応答が行われました。

次回第82回総会は2013年2月19日（火）東京学芸大学において開催，第83回総会は2013年9月20日（金）秋田大学において開催されます。

■ 特別支援教育基礎研修のご報告

平成24年度の特別支援教育基礎研修を本学教育人間科学部附属特別支援学校との共催で8月1日（水）午前中に開催しました。山梨県保健福祉部中央児童相談所 児童虐待対策幹 藤森雅恵先生を講師にお招きし，「児童相談所と学校との連携－虐待のケースを中心に－」と題して，児童相談所の機能と現状，学校との連携について，丁寧かつ体系的なご講演をいただきました。県内学校教員を中心に67名の方にご参加いただき，様々な課題をもつ子どもたちへの支援について多くの視点を学ぶことが出来ました。以下にアンケートに寄せられた感想の一部を紹介いたします。

- ・児童相談所の果たす役割や業務の内容について詳しく説明していただき分かりやすかったです。連携についてそれぞれの立場からできることを…大変大事だと思いました。
- ・学校との連携の大切さ，まずは相談してみるものの大切さが分かった。
- ・担任している生徒の状況がびたりと当てはまる内容で確認することができ良かったです。
- ・児童虐待が問題となっている中，きちんとした研修を受けたことがなかったので大変参考になりました。未然に防ぐことは難しいが，早期発見し，子どもたちの安心が少しでも早く確保されるように，子どもたちの様子に気を配り，気をつけたいと思いました。
- ・教育現場ではさまざまな支援が必要であると思われる子どもが多い。教員も特別支援教育を研修し，情報を共有できるようにしていかなければいけない。今後も事例を含め研修をしていただきたい。

■ 山梨県教育委員会十年経験者研修山梨大学講座のご報告

附属教育実践総合センター教育臨床部門では，例年，山梨県教育委員会十年経験者研修山梨大学講座のアレンジを行っております。去る8月10日（金）に放送大学山梨学習センターを会場に行われまし

た。24年度の本研修も無事に終了いたしました。本年度山梨大学講座では、下記の4講座を開講し、延べ83名の山梨県教育職員の先生方にご参加いただきました。

A「ワイン・サイエンスへの誘い」（ワイン科学研究センター見学あり）

柳田 藤寿（生命環境学部教授）

B「発達の遅れや偏りのある児童・生徒をどう支えるか？」

渡邊 雅俊（教育支援科学講座准教授）

C「小学校外国語活動における指導のポイント」

田中 武夫（言語文化教育講座准教授）

D「教育相談の進め方—保護者支援に焦点をあてて」

谷口 明子（教育支援科学講座教授）

■ 夏季休業中の教員研修等への協力についてご報告

教育実践総合センターは、期間採用者等研修、特別支援教育基礎研修等のセンター主催の教員研修等を開催しており、教員免許状更新講習の講師も務めておりますが、学外の研修にも協力しました。教員研修等への協力状況は以下の通りです。

7月23日 山梨県総合教育センター 中学校家庭分野I 研修会、「地域の伝統と文化を取り入れた食生活の学習」、参加者：小・中・高等学校・特別支援学校教員、参加人数16名（時友）

7月26日—27日 平成24年度山梨県教育委員会教育職員免許法認定講習。教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用法を含む）『ICTを活用した教育方法』。参加者：小学校教諭・養護教諭9名（成田）。

7月30日 山梨県総合教育センター高校数学授業改善研修会。研修テーマ「学習指導要領改訂と統計教育カリキュラム・教材の動向」。参加者：高等学校数学科教員2名（成田）。

7月30日 東京都立北特別支援学校訪問教育部校内研修会。演題「生きる力を育むキャリア教育」参加者：特別支援学校教諭23名（谷口）。

7月31日 中巨摩地区学校経営研究会。演題「今求められる道德教育と学校経営」。参加者：中巨摩第4支会小学校校長9名（蘆原）。

7月31日 山梨県・甲府市適応指導教室合同学習会。演題「不登校児への組織的支援—発達障害への対応を中心に—」参加者：小中学校教諭他65名（谷口）。

8月6日 東京都立墨東特別支援学校いるか分教室夏季研修会。演題「院内学級におけるつなぎ支援」。参加者：特別支援学校教諭80名（谷口）。

8月9日 山梨県峡東地区保・幼・小・中連携セミナー。演題「子どもの環境移行への支援—よりよい連携のために必要なことは何か—」参加者：保育士・幼小中学校教諭他65名（谷口）。

8月10日 山梨県教育委員会十年経験者研修山梨大学講座講師。演題「教育相談のすすめ方—保護者への対応を中心に—」参加者：十年経験者研修該当教員67名（谷口）

■ 教育実践総合センター コンピューター実習室について

本センターでは、J422でWindowsPC、J324でiMacを使った実習ができるように整備されていましたが、本年8月からは、本学施設設備再配置にともない、J422（授業研究演習室）1室にWindowsPCとiMacが置かれ、実習ができるようになりました。機器や什器の整備や資料等の整理がまだ十分ではありませんが、利用することができますので、利用申請や問い合わせはJ424（教育実践総合センター事務室）までお願いいたします。

■ 「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室（L-428）をどうぞご利用ください。ご利用に際しましては、事前に教育実践総合センター事務室（J号館4F）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。鍵については事務室にお尋ねください。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。